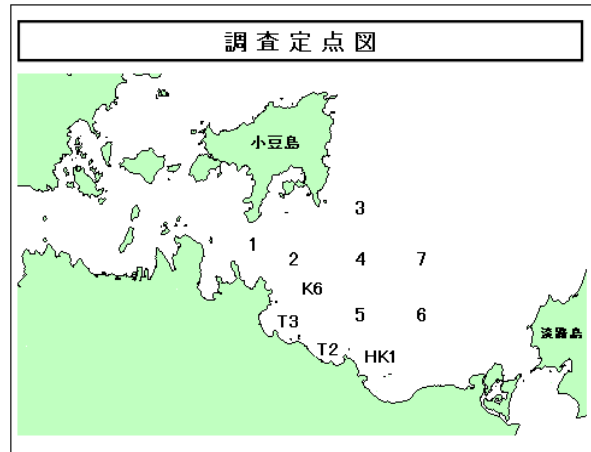


カタクチイワシ卵稚仔出現状況 (2014. 6-2号)

香川県水産試験場 益井
TEL: 087-843-6511

調査日: 2014年6月17日
調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳
調査地点: 播磨灘11定点(右図)

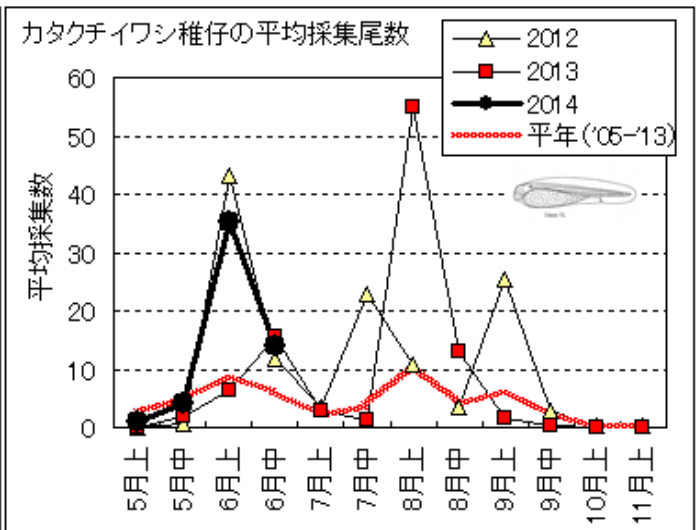
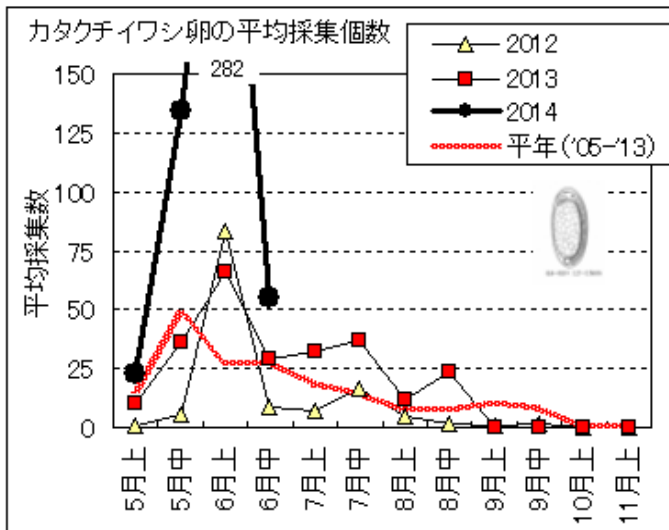


【カタクチ卵】 定点別出現数

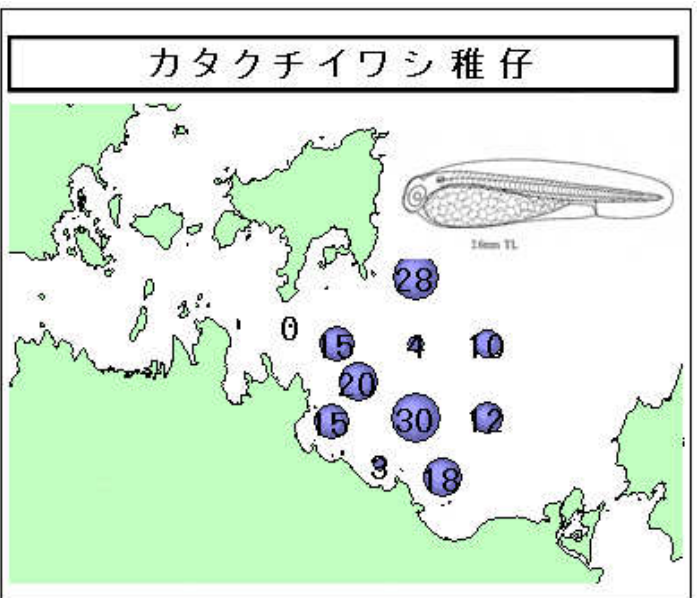
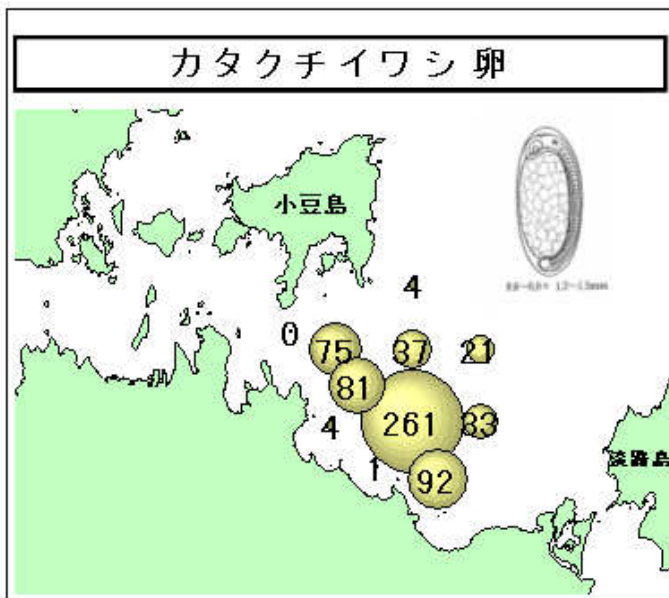
年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.6.21	3	1	14	4	8	30	26	5	1	0	4	8.7
2013.6.18	1	1	72	2	56	176	4	4	2	0	0	28.9
2014.6.17	0	75	4	37	261	33	21	92	1	4	81	55.4

【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	11点平均値
2012.6.21	0	1	13	19	73	6	6	2	5	3	1	11.7
2013.6.18	1	11	23	17	32	77	7	3	0	0	0	15.5
2014.6.17	0	15	28	4	30	12	10	18	3	15	20	14.1



* グラフの値は、播磨灘11定点の平均値を表す。

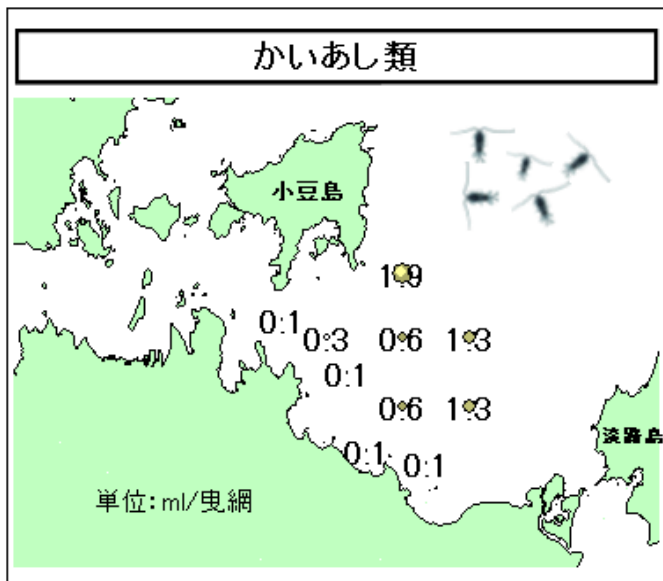
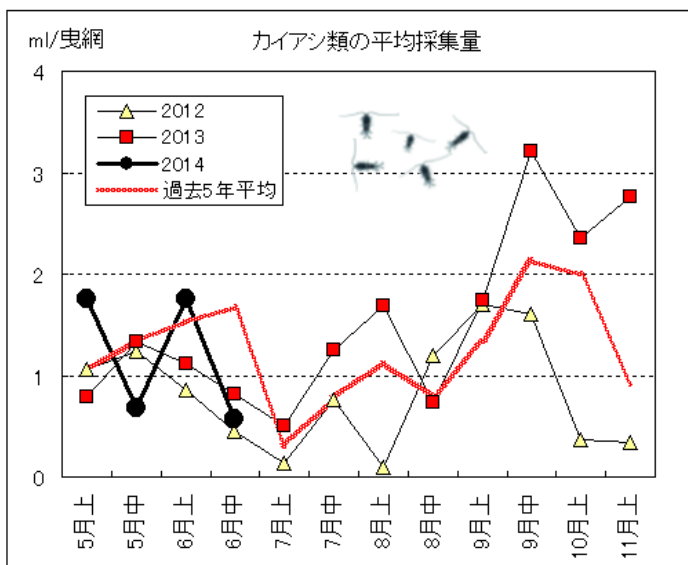


播磨灘11定点における卵の平均出現数は約55個で、多かった前回(6月3日)から減少しましたが、前年および平年(05-13年の平均)を上回りました。稚仔の平均出現数は14尾で、前回から減少したものの、平年を上回り、前年と同程度でした。

卵稚仔の分布は前回とほぼ同様で、卵は白鳥沖を中心に、稚仔は播磨灘の南西側(香川県寄り)に広範囲に分布していました。また、現場観測時において、引田沖から白鳥沖にかけてカタクチイワシと思われる魚群が目視または魚群探知機により頻繁に確認されました。

餌料生物として重要なカイアシ類は、全体的に少ない状況です。

【参考】



カイアシ類採集量は、プランクトン採集量(沈殿量)に占めるカイアシ類のおおよその割合から算出しています。餌料環境の目安としてご参照ください。

※カタクチイワシ卵稚仔情報は、「水産試験場ホームページ」の「情報提供」の「カタクチイワシ卵稚仔速報」でも公開しています。
<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/>

※次回の調査は7月2日の浅海定線調査に合わせて実施予定です。